



【掲載資料】写真：30620019565 浜川漁港建築工事(1975年)

戦前の北谷の産業は農業が中心でしたが、海沿いの集落では漁業を営む家庭もありました。漁獲された魚は自家用として消費されるほか、農村部へ持って行き野菜などと交換することもあり、中には遠くコザ（現沖縄市）や具志川（現うるま市）方面まで魚を売りに出向く人もいました。戦後は字浜川の海岸を漁業拠点地として、くり舟を使った沿岸漁業が行われるようになりました。その後、漁法の進歩と漁船の大型化が進められたことから、1977年（昭和52年）3月に浜川漁港が設置され、地域の漁業を支える基盤として整備されました。



写真を公文書館
検索システムで探す



公文書館
ホームページ

お問い合わせ 公文書館 ☎982-7739

公文書館では北谷に関する資料を収集しています。資料の種類や新旧に関わらず、ご寄贈や情報提供などのご協力をお願いします。